

長寿応援ポイント事業の見直しについて

杉並区実行計画等に基づき、地域活動団体関係者等の意見を踏まえ、以下のとおり、令和7年度から長寿応援ポイント事業を見直すこととしましたので、報告します。

1 事業の概要及びこれまでの主な実績・課題

(1) 事業の概要

別紙1のとおり

(2) これまでの主な実績・課題

項目	実績	課題
①ポイント交換者数(参加者数) 《別紙2参照》	<ul style="list-style-type: none"> 平成22～30年度は年々増加しており、最も多い平成30年度は5,537人(60歳以上人口の3.8%)。令和元年度以降は、コロナ禍の影響により減少傾向。 直近5年間の交換者は、全体の4分の3が75～89歳。 	<ul style="list-style-type: none"> 74歳以下など、より多くの高齢者の参加促進が必要。
②ポイント交換 《別紙3参照》	<ul style="list-style-type: none"> 直近5年間の実績では、1年間の上限(600ポイント)に対し、1人当たり平均の交換ポイントは175ポイント。 同じく、ポイント獲得のための活動状況は、地域貢献活動67.5%、いきがい活動28.6%、健康増進活動等3.9%。 	<ul style="list-style-type: none"> 今後の参加促進を見据えた事業の持続可能性を考慮し、実績に応じた上限ポイント数等の見直しが必要。
③対象となる活動 《別紙4参照》	<ul style="list-style-type: none"> 主に団体参加となる地域貢献活動やゆうゆう館等でのいきがい活動は定着化している一方、主に個人参加となる健康増進活動等の事業数は停滞傾向。 	<ul style="list-style-type: none"> 更なる高齢化の進展を踏まえ、高齢者が個人でも参加できる健康増進活動等の充実が必要。
④長寿応援ファンド 《別紙5参照》	<ul style="list-style-type: none"> ファンドを活用した事業は、ゆうゆう館協働事業や次世代育成基金活用事業助成等による類似事業があることから停滞傾向。 	<ul style="list-style-type: none"> ファンドの意義が薄れつつある中で、今後の取扱いについて検討が必要。

2 見直し検討の進め方

- (1) 「これまでの主な実績・課題」等を基に、見直しの基本的な考え方及び見直しの方向性(たたき台)を整理した(令和5年12月まで)。
- (2) 「見直しの基本的な考え方及び見直しの方向性(たたき台)」に対する地域活動団体関係者等の意見を聴取した(令和6年3月まで)。
- (3) 地域活動団体関係者等の意見を踏まえて、見直しの方向性(たたき台)の修正内容を整理し、改めて関係者等へ説明の上、区として意思決定した(令和6年5月まで)。

3 見直しの基本的な考え方

- (1) 活力ある高齢社会づくりに資する事業として、令和9年度までに「60歳以上人口比4%」の参加率を目標に設定(※1)し、付与ポイント等のインセンティブによらず(※2)、より多くの高齢者の参加が得られる仕組みとする。
- (※1)過去のピークである平成30年度(参加人数5,537人、参加率3.8%)に比べ、878人増となる6,415人以上の参加人数の獲得を目指す。
- (※2)「お互いの支えあい」(=地域共生社会)につなげる観点から、単にインセンティブを高めるような見直しは行わない。
- (2) 目標参加率の達成を前提に、一定の事業経費の抑制を図ることができる仕組みとする。
- (3) 見直し後の事業の実施状況については、令和10年度の上半期を目途に検証を行う。

4 見直し後の事業概要

項目	現行	見直し後	見直しの方向性(たたき台)からの修正内容 《別紙6参照》
(1)活動毎の対象者	①地域貢献活動 :60歳以上 ②いきがい活動 :75歳以上 ③健康増進活動等:60歳以上	①60歳以上 ②60歳以上 ③60歳以上	・「②いきがい活動:70歳以上」を、他の活動と同様に「60歳以上」に修正
(2)活動1回当たりの付与ポイント数	①地域貢献活動 :5ポイント ②いきがい活動 :1ポイント ③健康増進活動等:1ポイント	①3ポイント ②1ポイント ③1ポイント	・「①地域貢献活動:2ポイント」を、「3ポイント」に修正
(3)1年度当たりの付与ポイント上限	600ポイント ※2割は長寿応援ファンドへ寄付	・令和7年度:400ポイント ・8年度以降:200ポイント ※令和7年度は経過措置	・「令和7年度から200ポイント」を、2年間にわたり段階的に引下げ
(4)長寿応援ファンド	ファンドを原資として事業を実施	ファンドは廃止 ※交換者の実態に応じて区が指定する基金等へ寄付する仕組みは存続。なお、ファンドの残高の取扱いは別途調整・検討	<修正なし>
(5)ポイント交換単位	25ポイント以上 (1ポイント50円換算) ※交換は25ポイント毎	10ポイント以上 (1ポイント50円換算) ※交換は10ポイント毎	<修正なし>
(6)ポイントシールの有効期限	付与の翌々年度まで (3年間)	付与の翌年度まで (2年間)	<修正なし>
(7)健康増進活動等の充実	—————	高齢者部門と健康部門等による区主催事業を充実	<修正なし>

5 今後の主なスケジュール（予定）

- 令和 6 年 7 月～ 見直し後の事業内容を区民等へ周知
- 10 月～ システム改修（10 月～令和 7 年 2 月）
- 令和 7 年 4 月 見直し後の事業を実施

長寿応援ポイント事業(平成21年10月開始)の概要

1 長寿応援ポイント事業の目的

- 高齢者が自らの力を発揮し、いきいきとした高齢期を過ごすことができるよう応援するとともに、その活動が自らの健康長寿を図り、お互いの支えあいにつなげることを目的とした事業。

2 長寿応援ポイント事業への参加方法

- 長寿応援ポイント事業は、「①地域貢献活動」や「②いきがい活動」、区が実施する「③健康増進活動等」への参加に応じてポイントを付与。
- ポイントは、杉並区内共通商品券への交換や寄付が可能。

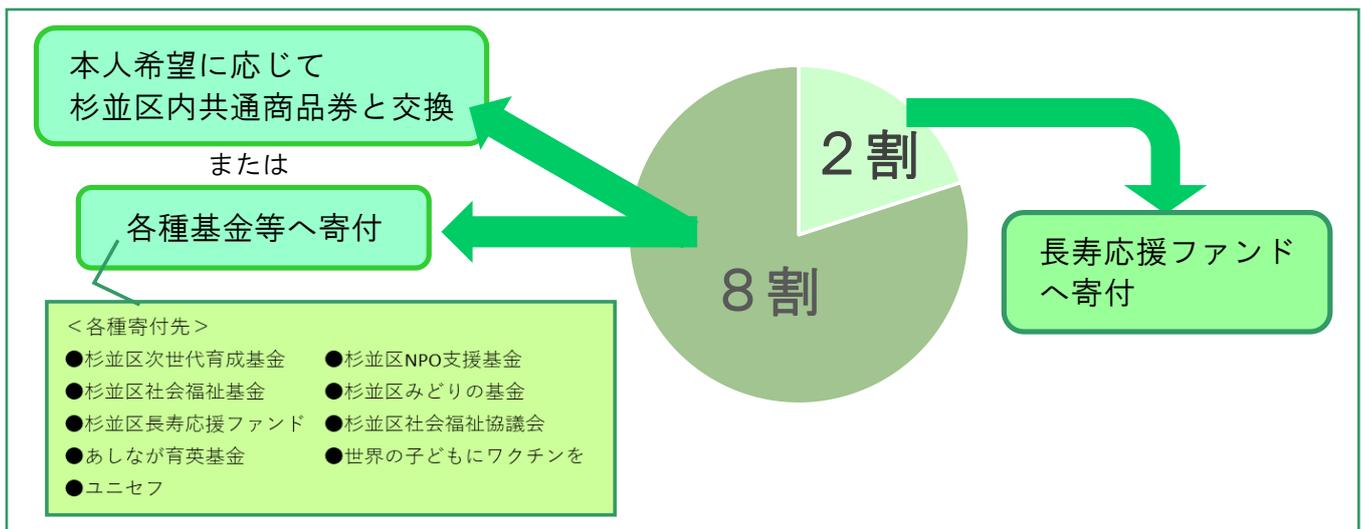
活動の種類	活動内容	対象者	1回当たりの付与ポイント数
① 地域貢献活動	清掃ボランティア、防犯パトロール、児童館ボランティア、区事業ボランティアなど	60歳以上の区民	5ポイント
② いきがい活動	ゆうゆう館主催講座・催し、各種グループ活動など	75歳以上の区民	1ポイント
③ 健康増進活動等	介護予防事業、ケア24事業、保健センター自主グループ、まちな湯健康事業など	60歳以上の区民	1ポイント

3 ポイント交換の方法

- 活動に参加して貯めたポイントは、専用の台紙に貼り、25ポイント以上で交換が可能。
- ポイントの8割は本人希望に応じて杉並区内共通商品券に交換または各種基金等へ寄付。残りの2割は長寿応援ファンドへ寄付。

項目	内容
申請者	ポイントを集めた本人(委任状により代理申請可)
交換可能ポイント	25ポイント以上(25ポイント単位で交換可能。1ポイント50円換算)
ポイントシール有効期限	発行年度から3年度間
上限ポイント	年間600ポイント (1ポイント50円×600ポイント=3万円) (うち、2割(6千円分)は長寿応援ファンドへ寄付)
申請場所	①高齢者施策課窓口 ②各ゆうゆう館、コミュニティふらっと

<参考：事業の概念図>



1 ポイント交換者数等の推移(平成22年度～令和4年度)

年度	ポイント交換者数 (実人数)	60歳以上 人口に占める 参加率	ポイント交換総数	事業経費(決算ベース)				合計
				① ポイント 交換経費 (ファンド分含む)	② 委託関連費	③ 普及啓発等 関連費 ポイントシール・ 台紙等作成費用等	④ 運営会議 関連事務費	
平成22年度	1,842人	1.3%	308,550ポイント	15,427,500円	34,420,777円	2,822,235円	434,289円	53,104,801円
平成23年度	4,022人	2.9%	619,700ポイント	31,085,000円	29,240,000円	11,107,708円	563,480円	71,996,188円
平成24年度	3,860人	2.7%	631,975ポイント	31,698,750円	30,094,347円	10,668,146円	540,000円	73,001,243円
平成25年度	4,432人	3.1%	742,800ポイント	37,240,000円	31,839,910円	8,830,490円	528,000円	78,438,400円
平成26年度	4,959人	3.5%	827,450ポイント	41,472,500円	34,843,336円	2,006,339円	618,000円	78,940,175円
平成27年度	4,992人	3.5%	861,850ポイント	43,192,500円	35,020,904円	5,508,675円	630,000円	84,352,079円
平成28年度	5,216人	3.6%	923,750ポイント	46,287,500円	35,819,388円	8,953,710円	582,000円	91,642,598円
平成29年度	5,342人	3.7%	933,075ポイント	46,753,750円	※41,112,396円	11,368,834円	480,000円	99,714,980円
平成30年度	5,537人	3.8%	986,350ポイント	49,417,500円	38,042,288円	9,470,006円	283,090円	97,212,884円
令和元年度	5,089人	3.4%	907,800ポイント	45,490,000円	38,956,178円	12,831,694円	184,460円	97,462,332円
令和2年度	3,810人	2.6%	652,550ポイント	32,727,500円	40,020,404円	10,022,763円	125,652円	82,896,319円
令和3年度	4,191人	2.8%	693,250ポイント	34,762,500円	40,986,420円	2,030,830円	116,620円	77,896,370円
令和4年度	3,892人	2.6%	706,700ポイント	35,435,000円	40,926,893円	7,789,007円	173,698円	84,324,598円

※平成29年度は実態調査委託費5,261,760円含む。

2 年齢5歳階級別のポイント交換者数(実人数)割合(平成30年度～令和4年度)

5歳階級	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
	人数	割合								
60歳 ～64歳	69人	1.25%	63人	1.24%	57人	1.50%	53人	1.26%	38人	0.98%
65歳 ～69歳	345人	6.23%	247人	4.85%	181人	4.75%	163人	3.89%	139人	3.57%
70歳 ～74歳	703人	12.70%	627人	12.32%	476人	12.49%	509人	12.15%	383人	9.84%
75歳 ～79歳	1,693人	30.58%	1,577人	30.99%	1,114人	29.24%	1,131人	26.99%	1,066人	27.39%
80歳 ～84歳	1,633人	29.49%	1,492人	29.32%	1,152人	30.24%	1,337人	31.90%	1,243人	31.94%
85歳 ～89歳	831人	15.01%	825人	16.21%	652人	17.11%	754人	17.99%	780人	20.04%
小計 (75～89歳)	4,157人	75.08%	3,894人	76.52%	2,918人	76.59%	3,222人	76.88%	3,089人	79.37%
90歳 ～94歳	243人	4.39%	230人	4.52%	156人	4.09%	217人	5.18%	214人	5.50%
95歳 ～99歳	19人	0.34%	27人	0.53%	20人	0.52%	26人	0.62%	28人	0.72%
100歳～	1人	0.02%	1人	0.02%	2人	0.05%	1人	0.02%	1人	0.03%
合計	5,537人	100%	5,089人	100%	3,810人	100%	4,191人	100%	3,892人	100%

パーセンテージの合計は、端数処理の関係上、必ずしも一致しません。

1 ポイント交換者数の推移(平成30年度～令和4年度)

年度 ポイント数(※)	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
25ポイント	313人(5.7%)	242人(4.8%)	292人(7.7%)	450人(10.7%)	299人(7.7%)
50ポイント	1,512人(27.3%)	1,470人(28.9%)	1,094人(28.7%)	1,128人(26.9%)	1,046人(26.9%)
75ポイント	224人(4.0%)	212人(4.2%)	192人(5.0%)	199人(4.7%)	143人(3.7%)
100ポイント	791人(14.3%)	724人(14.2%)	441人(11.6%)	558人(13.3%)	545人(14.0%)
125ポイント	202人(3.6%)	161人(3.2%)	147人(3.9%)	167人(4.0%)	119人(3.1%)
150ポイント	350人(6.3%)	335人(6.6%)	228人(6.0%)	257人(6.1%)	241人(6.2%)
175ポイント	150人(2.7%)	115人(2.3%)	110人(2.9%)	109人(2.6%)	104人(2.7%)
200ポイント	250人(4.5%)	192人(3.8%)	148人(3.9%)	152人(3.6%)	161人(4.1%)
25~200ポイントの合計	3,792人(68.5%)	3,451人(67.8%)	2,652人(69.6%)	3,020人(72.1%)	2,658人(68.3%)
225ポイント	148人(2.7%)	126人(2.5%)	113人(3.0%)	92人(2.2%)	71人(1.8%)
250ポイント	587人(10.6%)	564人(11.1%)	411人(10.8%)	379人(9.0%)	400人(10.3%)
275ポイント	53人(1.0%)	53人(1.0%)	21人(0.6%)	53人(1.3%)	35人(0.9%)
300ポイント	103人(1.9%)	116人(2.3%)	71人(1.9%)	67人(1.6%)	86人(2.2%)
325ポイント	36人(0.7%)	47人(0.9%)	29人(0.8%)	28人(0.7%)	37人(1.0%)
350ポイント	68人(1.2%)	54人(1.1%)	45人(1.2%)	37人(0.9%)	44人(1.1%)
375ポイント	35人(0.6%)	36人(0.7%)	15人(0.4%)	28人(0.7%)	21人(0.5%)
400ポイント	59人(1.1%)	45人(0.9%)	26人(0.7%)	30人(0.7%)	31人(0.8%)
225~400ポイントの合計	1,089人(19.7%)	1,041人(20.5%)	731人(19.2%)	714人(17.0%)	725人(18.6%)
425ポイント	40人(0.7%)	23人(0.5%)	22人(0.6%)	15人(0.4%)	11人(0.3%)
450ポイント	43人(0.8%)	42人(0.8%)	25人(0.7%)	30人(0.7%)	34人(0.9%)
475ポイント	25人(0.5%)	27人(0.5%)	16人(0.4%)	23人(0.5%)	19人(0.5%)
500ポイント	178人(3.2%)	141人(2.8%)	96人(2.5%)	104人(2.5%)	119人(3.1%)
525ポイント	22人(0.4%)	17人(0.3%)	13人(0.3%)	10人(0.2%)	20人(0.5%)
550ポイント	30人(0.5%)	40人(0.8%)	30人(0.8%)	25人(0.6%)	21人(0.5%)
575ポイント	32人(0.6%)	19人(0.4%)	14人(0.4%)	20人(0.5%)	15人(0.4%)
600ポイント	286人(5.2%)	288人(5.7%)	211人(5.5%)	230人(5.5%)	270人(6.9%)
425~600ポイントの合計	656人(11.8%)	597人(11.7%)	427人(11.2%)	457人(10.9%)	509人(13.1%)
合計	5,537人(100.0%)	5,089人(100.0%)	3,810人(100.0%)	4,191人(100.0%)	3,892人(100.0%)
総交換ポイント数	986,350ポイント	907,800ポイント	652,550ポイント	693,250ポイント	706,700ポイント
平均ポイント交換数 (ファンド除外分)	178ポイント (143ポイント)	178ポイント (143ポイント)	171ポイント (137ポイント)	165ポイント (132ポイント)	182ポイント (145ポイント)
5か年平均 175ポイント(140ポイント)					

※パーセンテージの小計・合計や平均ポイント交換数は、端数処理の関係上、一致しない場合がある。

2 活動種別配布ポイント数の推移(平成30年度～令和4年度)

単位:ポイント

年度	区分 総配布ポイント数	活動種別配布ポイント数		
		①地域貢献活動	②いきがい活動	③健康増進活動等
平成30年度	1,098,453	727,215 (66.2%)	314,534 (28.6%)	56,704 (5.2%)
令和元年度	1,051,958	709,110 (67.4%)	293,781 (27.9%)	49,067 (4.7%)
令和2年度	613,206	434,105 (70.8%)	159,876 (26.1%)	19,225 (3.1%)
令和3年度	730,517	494,740 (67.7%)	216,972 (29.7%)	18,805 (2.6%)
令和4年度	833,597	554,690 (66.5%)	255,250 (30.6%)	23,657 (2.8%)
5か年平均	865,546	583,972 (67.5%)	248,083 (28.6%)	33,492 (3.9%)

※ポイントシールの有効期限が3年間あるため、配布ポイント数と交換ポイント数は一致しない。

※5か年平均、パーセンテージの合計は、端数処理の関係上、一致しない場合がある。

1 活動種別登録団体数等の推移(平成22年度～令和4年度)

(単位:団体)

活動内容		年度												主な参加者	
		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度		令和4年度
① 地域貢献活動	①防犯・安全	67	70	82	86	88	91	94	97	100	102	95	96	102	団体構成員
	②環境・美化	82	82	91	98	103	117	119	124	127	129	118	118	120	団体構成員
	③スポーツ・健康	10	11	11	10	11	13	15	16	17	17	17	17	18	団体構成員
	④高齢者支援(一般)	43	45	46	46	58	70	75	78	81	81	79	72	75	団体構成員
	⑤高齢者支援(施設)	53	52	54	61	63	68	66	66	64	63	60	51	43	団体構成員
	⑥子ども・子育て支援(一般)	10	14	18	18	18	21	22	23	22	23	22	19	21	団体構成員
	⑦子ども・子育て支援(施設)	38	36	37	39	37	37	38	39	36	35	32	30	27	団体構成員
	⑧障害者支援(一般)	10	11	11	11	11	11	11	9	7	7	7	7	6	団体構成員
	⑨障害者支援(施設)	3	3	5	5	5	6	7	7	7	7	7	6	6	団体構成員
	⑩その他	36	38	39	39	41	39	41	41	39	39	37	36	35	団体構成員
	小計	352 (32.1%)	362 (31.9%)	394 (32.6%)	413 (32.6%)	435 (32.8%)	473 (33.5%)	488 (33.6%)	500 (33.9%)	500 (33.7%)	503 (33.5%)	474 (33.5%)	452 (33.5%)	453 (33.5%)	
② いきがい活動	①歌・音楽・踊り	156	161	172	181	183	189	194	192	201	207	189	180	175	団体構成員
	②スポーツ・健康・美容	184	192	207	226	244	268	275	281	284	291	274	270	285	団体構成員
	③手工芸	32	34	36	40	39	45	48	47	47	47	44	36	34	団体構成員
	④囲碁・将棋・麻雀・ゲーム	69	72	77	77	85	92	96	100	105	108	104	92	94	団体構成員
	⑤生花・茶道、その他文化・文芸	51	55	61	68	77	84	91	89	94	93	94	93	83	団体構成員
	⑥料理・食育	4	5	9	9	8	10	9	11	10	10	8	8	7	団体構成員
	⑦IT	0	3	3	3	4	4	4	4	4	4	4	3	4	団体構成員
	⑧その他	67	70	67	65	72	77	82	88	92	95	92	85	92	団体構成員及び個人
	小計	563 (51.4%)	592 (52.2%)	632 (52.2%)	669 (52.8%)	712 (53.7%)	769 (54.5%)	799 (55.1%)	812 (55.1%)	837 (56.4%)	855 (57.0%)	809 (57.2%)	767 (56.8%)	774 (57.3%)	
③ 健康増進活動等	①まちの湯健康事業	22	21	19	17	16	15	15	14	14	14	13	12	12	個人
	②地域ささえ愛グループ活動	56	60	64	63	60	62	61	62	58	58	53	53	54	団体構成員及び個人
	③健康センター自主グループ	53	49	50	51	51	48	48	46	41	37	35	34	26	団体構成員
	④ケア24事業	21	20	20	20	20	20	20	20	14	14	13	13	13	個人
	⑤介護予防事業	13	16	18	21	20	11	11	11	11	11	10	11	11	個人
	⑥地域大学	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	個人
	⑦保健所・保健センター事業	5	5	5	5	6	6	2	2	1	1	1	1	1	個人
	⑧その他	9	8	7	7	6	6	6	6	6	6	6	6	6	個人
	小計	181 (16.5%)	181 (15.9%)	184 (15.2%)	185 (14.6%)	180 (13.6%)	169 (12.0%)	164 (11.3%)	162 (11.0%)	146 (9.8%)	142 (9.5%)	132 (9.3%)	131 (9.7%)	124 (9.2%)	
合計	1,096 (100%)	1,135 (100%)	1,210 (100%)	1,267 (100%)	1,327 (100%)	1,411 (100%)	1,451 (100%)	1,474 (100%)	1,483 (100%)	1,500 (100%)	1,415 (100%)	1,350 (100%)	1,351 (100%)		

2 個人で参加可能な事業の推移(平成22年度～令和4年度)

(単位:団体)

活動内容		年度												主な参加者	
		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度		令和4年度
③ 健康増進活動等	②いきがい活動 ⑧その他	67	70	67	65	72	77	82	88	92	95	92	85	92	団体構成員及び個人
	①まちの湯健康事業	22	21	19	17	16	15	15	14	14	14	13	12	12	個人
	②地域ささえ愛グループ活動	56	60	64	63	60	62	61	62	58	58	53	53	54	団体構成員及び個人
	④ケア24事業	21	20	20	20	20	20	20	20	14	14	13	13	13	個人
	⑤介護予防事業	13	16	18	21	20	11	11	11	11	11	10	11	11	個人
	⑥地域大学	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	個人
	⑦保健所・保健センター事業	5	5	5	5	6	6	2	2	1	1	1	1	1	個人
	⑧その他	9	8	7	7	6	6	6	6	6	6	6	6	6	個人
	合計	195 (17.8%)	202 (17.8%)	201 (16.6%)	199 (15.7%)	201 (15.1%)	198 (14.0%)	198 (13.6%)	204 (13.8%)	197 (13.3%)	200 (13.3%)	189 (13.4%)	182 (13.5%)	190 (14.1%)	

長寿応援ファンドの概要及び運用等の実績について

1 長寿応援ファンドの概要

- 平成23年度に創設した長寿応援ファンド(以下「ファンド」という。)には、各年度に参加者が交換した長寿応援ポイントの2割と、残りの8割のうち、本人希望によりファンドに寄付したポイント分を積み立てる。
- ファンド積立額は、各年度に次のとおり募集する助成事業に活用し、各種地域活動の活性化等につなげる。

＜ファンド助成事業のあらまし＞

◆対象となる活動

- ①地域貢献性、公益性の高い活動
- ②新規に立ち上げる活動または継続する活動の新たな展開や向上を図る活動
- ③助成により、今後の継続や活動目的の達成が見込める活動

◆活動主体

- ①区内で自発的に活動している団体
- ②実際に活動する構成員が5人以上で、その半数以上が区民(在住・在勤・在学)
- ③営利・政治・宗教活動や暴力団等が関与する活動は対象外

◆助成審査

長寿応援ポイント事業運営会議(※)が実施

(※)メンバーは、高齢者担当部長、高齢者施策課長、地域包括ケア推進担当課長、高齢者施策課いきがい活動支援係長、在宅医療・生活支援センター地域ささえあい連携推進担当係長のほか、学識経験者2名の専門的助言を得ながら審査

- ファンドの管理は、協定書に基づき杉並区社会福祉協議会が実施

2 ファンドの運用実績

区分	寄付額			ファンドによる 事業助成額	年度末残高 (利子を含む)
	交換ポイント (2割)分	その他の 寄付分	合計		
平成23年度	6,197,000円	400,000円	6,597,000円	2,338,000円	4,551,220円
平成24年度	6,319,750円	366,000円	6,685,750円	4,730,000円	6,323,140円
平成25年度	7,428,000円	354,000円	7,782,000円	3,653,000円	9,783,123円
平成26年度	8,274,500円	358,000円	8,632,500円	4,708,000円	12,328,857円
平成27年度	8,618,500円	409,000円	9,027,500円	5,032,000円	15,288,897円
平成28年度	9,237,500円	426,000円	9,663,500円	6,279,000円	18,526,421円
平成29年度	9,330,750円	447,000円	9,777,750円	2,841,000円	24,909,953円
平成30年度	9,863,500円	564,000円	10,427,500円	3,116,000円	28,200,999円
令和元年度	9,078,000円	457,000円	9,535,000円	4,987,760円	33,327,752円
令和2年度	6,525,500円	406,000円	6,931,500円	820,000円	42,661,838円
令和3年度	6,932,500円	522,000円	7,454,500円	544,000円	48,825,294円
令和4年度	7,067,000円	436,000円	7,503,000円	1,837,594円	54,288,291円

3 ファンド助成事業の実績

活動内容 年度	申請団体数	助成団体数	活動テーマ(分野) (※1)			
			高齢者支援 (※2)	子ども・若者 世代支援 (※3)	世代間交流 支援 (※4)	まちづくり 支援 (※5)
平成23年度	11団体	6団体	2件	4件		
平成24年度	21団体	10団体	4件	7件		
平成25年度	28団体	7団体	3件	4件		
平成26年度	17団体	8団体	4件	4件		
平成27年度	29団体	7団体	2件		1件	4件
平成28年度	15団体	8団体	5件	2件		1件
平成29年度	8団体	5団体	2件		1件	2件
平成30年度	11団体	5団体	1件	1件		3件
令和元年度	11団体	6団体	5件	1件	1件	2件
令和2年度	3団体	3団体	2件			1件
令和3年度	3団体	3団体	3件			1件
令和4年度	5団体	5団体	4件		2件	3件

(※1)テーマが重複する活動は、ダブルカウントするため、助成団体数と活動テーマ(分野)の合計数は一致しない。

(※2)高齢者支援の活動について、各ゆうゆう館の令和4年度実績では、合計 413 件(ふれあい交流事業除く)の協働事業を実施。

(※3)子ども・若者世代支援の活動について、杉並区次世代育成基金の令和4年度実績では、合計 11 件の助成事業に活用。

(※4)世代間交流支援の活動について、各ゆうゆう館の令和4年度実績では、合計 165 件のふれあい交流による協働事業を実施。また、コミュニティふらっと多世代交流イベントの令和4年度実績では、合計 10 件の交流事業を実施。

(※5)まちづくり支援の活動について、都市整備部門が実施するまちづくり活動助成事業の令和4年度実績では、合計6団体に助成を実施。

見直しの方向性（たたき台）に対する地域活動団体関係者等の主な意見（概要）について

見直しの方向性(たたき台)の概要	地域活動団体A	地域活動団体B	地域活動団体C	地域活動団体D	地域活動団体E	地域活動団体F	学識経験者A	学識経験者B	学識経験者C
(1)対象となる活動の種類及び対象者 ・いきがい活動:75歳以上を70歳に引下げ	(特になし)	・対象年齢を引き下げるとともに、PRなどの工夫をしないと参加者は増えないと思う。	・70歳(場合によってはそれ以上)に引き下げるとよいと思う。	・対象年齢の引下げは良いと思う。65歳以上でもよいかもしれない。	・他の活動と同じで60歳以上としてはどうか。	・60代まで引き下げるとよいと思う。	(特になし)	・異論はないが、60代のうちから地域とのかかわりを持つように促す必要もある。また、地域共生の観点から、多世代共生型の活動も視野に入れるとよい。	・参加率アップのためには、50歳以上の世代からアプローチする視点が有効ではないか。
(2)1回当たりの付与ポイント数 ・地域貢献活動:5ポイントを2ポイントに引下げ	・地域貢献の活動が高いのは当然であり、他の活動と1ポイント差にするのは適当ではない。	・地域貢献活動のポイントは他の活動よりも高くよい。 ・地域貢献活動の1回当たり5ポイントは高過ぎるように感じる。	・地域貢献活動と他の活動の差は必要である。地域貢献活動の内容に応じて3ポイントに引き下げるとよい工夫はできないか。	・地域貢献活動と他の活動の差があり過ぎる。 ・例えば地域貢献活動は5ポイントで、他の活動を2ポイントに引き上げてはどうか。	・地域貢献活動は3ポイントが妥当ではないか。	・地域貢献活動は3ポイントが妥当ではないか。	・地域貢献活動の5ポイントは、他の活動との差が大き過ぎるので、引き下げる妥当性はある。	・異論なし。	・地域貢献活動のポイント引下げには反発も予想される。例えば、3つの活動全て2ポイントにしてはどうか。
(3)1年度当たりの付与ポイント上限 ・600ポイントを200ポイントに引下げ(2割を寄付する長寿応援ファンドは廃止)	・高齢者のいきがいづくり等に必要事業であり、是非、持続可能性を確保して継続してほしい。	・単に金目当てで活動しているわけではなく、より多くの高齢者に参加してもらうためには一定の足切りが必要と思う。 ・一度半分(300ポイント)に下げ、状況によって見直すことも考えてはどうか。	・事業が継続されるのが重要であり、そのため見直しは区が主体的に考えてもらえばよい。	・300ポイント程度は必要ではないか。	・400ポイントくらいから段階的に200ポイントまで引き下げるとはどうか。	・400ポイントくらいが妥当ではないか。	・これまでの実績に加え、長寿応援ファンドを廃止することで、一定のバランスを維持する工夫がされている。	・異論はないが、上限を超えた付与ポイント数も把握して、活動履歴の可視化を図ってはどうか。	(特になし)
(4)長寿応援ファンド ・長寿応援ファンドは廃止	(特になし)	・実態に応じて廃止することは理解する。	・廃止することよい。	・実態から見て、ファンドは活用されていない。	・廃止でよい。	・廃止でよい。	・実態に応じて廃止することは妥当と思う。	・他の助成制度等との兼ね合いから、廃止は妥当と思う。	・異論なし。 ・なお、(2)に関連して、地域貢献活動は、各基金への寄付なしとし、他の活動は2割分のポイントを各基金へ寄付する仕組みとすることも考えられる。
(5)ポイント交換単位 ・25ポイント単位を10ポイント単位に引下げ	(特になし)	(特になし)	・よりわかりやすく使いやすい10ポイント単位にすることはよい。	・交換しやすくなるので引き下げるとよい。	・例えば100ポイント単位にして、活動の活性化を図ってはどうか。	・10ポイント単位でよい。	(特になし)	・異論なし。	・異論なし。
(6)ポイントシールの有効期限 ・付与の翌々年度まで(3年間)を翌年度(2年間)に短縮	(特になし)	(特になし)	・2年でよい。	・2年でよい。	・むしろ現行の3年間より延ばしてほしい。	・1年でもよいのではないか。	(特になし)	・強い反対ではないものの、介護などで一時的に休止した活動を再開する場合もあるので、現行の3年以上としてもよいのではないか。	・異論なし。
(7)健康増進活動等の充実 ・個人で気軽に参加できる事業を充実し、参加率向上に寄与	(特になし)	・参加者を増やすためには、様々な工夫が必要である。	(特になし)	・個人で参加できる事業が増えるとよい。	(特になし)	(特になし)	(特になし)	(特になし)	・個人向けの活動を強化する点はよい。
(8)その他	・この事業は是非継続してほしい。	・商品券を利用できる区内店舗を増やしてほしい。	・スマートフォンアプリ等を活用したデジタル化を図ることは、高齢者の実態から時期尚早と思う。	・金のために活動しているわけではなく、事業の継続が大切と考える。	・参加者を増やすためのPRに努めてほしい。	(特になし)	・素案は全体的によく整理されている。 ・今後、複数団体のポイントシール管理者となっている場合の謝礼のあり方を考える必要があるのではないか。	・参加する高齢者を増やすために、インセンティブを高める方法をとらないことに賛成する。 ・参加者が増えても、事業経費を抑制する考え方は理解するが、人口変動に伴う一定の増はやむを得ないこと。	・当面は紙ベースの対応が必要と考えるが、次世代高齢者への対応としては、将来的に電子化を推進すべきではないか。

(注) 地域活動団体(順不同): 杉並区いきいきクラブ連合会理事、町会連合会常任理事、いきがい活動(スポーツ等)活動団体、いきがい活動(歌・音楽等)活動団体、地域貢献活動(防犯)活動団体、地域貢献活動(環境・美化)活動団体
学識経験者(順不同): 聖学院大学特任教授(古谷野 亘(介護保険運営協議会会長))、成蹊大学文学部現代社会学科教授(渡邊 大輔(長寿応援ポイント事業運営委員))、東京都健康長寿医療センター研究所博士(鈴木 宏幸(長寿応援ポイント事業運営委員))